

近畿本部（登録）防災研究会
第6回「防災講演会」のご案内
テーマ：斜面災害の実情と最新の斜面防災技術

近畿本部（登録）防災研究会の防災講演会を以下のとおり開催いたします。防災に関わる問題は、全ての技術部門の技術士にとって重要なテーマのひとつです。多くの方々のご参加をよろしくお願い致します。なお、まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

記

- 日 時 : 平成 27 年 12 月 15 日 (火) 19:00~20:00
※18:30~19:00 防災研究会例会を開催します。
- 場 所 : 日本技術士会近畿本部会議室
- 内 容 : 「斜面災害の実情と最新の斜面防災技術」
- 講 師 : 柔構造物工法研究会 事務局長 村石 尚 氏
- 参 加 費 : 500 円 (防災研究会会員は無料)
- 懇 親 会 : 講演会終了後、会場の近くで開催 (会費 4,000 円程度)
- 申込み期限 : 平成 27 年 12 月 12 日 (土)

近畿本部（登録）防災研究会 第6回「防災講演会」参加申込書

平成 27 年 月 日

氏 名	防災研究会 (会員、非会員)	
懇 親 会	参加する	参加しない

防災研究会の会員以外
の方は以下も記載して
下さい。

技術士部門	技術士会 (会員、非会員)	
勤 務 先		
電話番号		
FAX 番号		
メールアドレス		

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会

E-mail : minamigawa@etude.ocn.ne.jp

FAX : 072-242-7179 (担当幹事：南側晃一)

第6回「防災講演会」

斜面災害の実情と最近の斜面防災技術

所 属 : 柔構造物工法研究会 事務局長
氏 名 : 村石 尚

【略 歴】

昭和 51 年 4 月 日本国有鉄道入社
昭和 52 年 10 月 国鉄鉄道技術研究所、防災研究室
鉄道の橋梁河川防災の技術研究を担当
昭和 59 年 3 月 東京北鉄道管理局、施設部工事課
昭和 60 年 3 月 大阪鉄道管理局、施設部工事課
昭和 61 年 3 月 東京南鉄道管理局、構造物センター所長 施設維持管理
昭和 62 年 4 月 国鉄分割民営化に伴い財団法人鉄道総合技術研究所に採用
鉄道斜面防災の技術開発、落石対策の手引の改訂と防護柵研究、実大実験など
平成 17 年 10 月 東亜グラウト工業(株)入社、リングネット落石吸収柵工法研究会へ出向、その後、
柔構造物工法研究会を経て、事務局長として現在に至る。



【講演概要】

わが国の地勢は険しく変化に富み、毎年様々な形態の斜面の災害が発生する。そのため斜面防災のための対策として斜面安定工、表面保護工、そして間接的ではあるが様々な防護の待受工がこれまでも使われてきた。

一例として鉄道の災害例の降雨事例から、最近どのような気象的变化がおこりつつあるのか説明する。この結果、従来問題とならなかった事象が災害を起こすことになりその対策が急務となったひとつの例を紹介する。

鉄道にとって対応の難しい災害のひとつが落石である。戦後、落石による乗客の死傷者は発生していないが、防護のため斜面調査をしても落下可能性のある不安定岩塊の特定は今でも困難、常にその対策が後手になってきた。活線での適用性から柔構造の落石防護柵が選択される技術背景を述べたい。

また、この柔構造防護工の機能の原点について歴史的な経緯を紹介、その耐性の高さから様々な分野での適用可能性についても述べたい。